

大震災・復興ニュース(第127報)

平成25年9月26日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年9月20日～9月24日
- 2 測定分析機関 宮城県,(株)静環検査センター,(一財)日本食品分析センター,いであ(株),東北緑化環境保全(株),(株)総合水研究所
- 3 測定結果

・すべての検査品目について,基準値を下回り,安全性に問題のないことが確認されました。

水産物(採取日 平成25年9月9日～9月20日) (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
スズキ	鮫浦湾	16	ヌマガレイ	東松島市浜市沖	3.0
ガザミ	仙台湾	不検出	ヒラメ	東松島市浜市沖	3.9
コノシロ	東松島市浜市沖	0.81	ヒラメ	仙台湾	11
ゴマサバ	三陸南部沖	不検出	ブリ	三陸南部沖	1.5
サケ	三陸南部沖	不検出	マアジ	仙台湾	不検出
ジンドウイカ	巨理荒浜沖	不検出	マアナゴ	仙台湾	不検出
スズキ	東松島市浜市沖	14	マイワシ	三陸南部沖	0.57
スズキ	東松島市浜市沖	11	マツダイ	東松島市浜市沖	1.1
ツクシトビウオ	東松島市浜市沖	不検出	ヨシキリザメ	日本太平洋沖合北部	不検出
ニベ	東松島市浜市沖	不検出	-	-	-

2 管内の復興に向けた動き

松島湾で「ノリ網の張り込み」が始まりました

・9月21日頃から松島湾内各地のノリ育苗漁場においてノリ網の張り込みが開始されました。竹の支柱あるいは浮上筏で適正な干出を与えながらノリ芽を育てたあと,10月中旬以降に沖合の生産漁場へノリ網を移します。海苔の出来を左右するのはまずは「苗(種網)」の質です。豊作に向けて健全な種網が多く確保されるようがんばりましょう。



支柱竹にノリ網を張り込む生産者



浮上筏に張り込まれたノリ網

共同利用漁船等復旧支援対策事業の進捗状況

・東日本大震災により、大きな被害を受けた漁船や漁具を復旧するため、国の支援を受け「宮城県共同利用漁船等復旧支援対策事業」を導入し、その整備を進めています。

この事業は、震災で被災した漁業者を支援するため、共同で利用する漁船や定置網等の漁具の復旧整備を行うもので、管内では、平成23年度分として355件、平成24年度分として71件が計画の承認を受け事業が進められており、さらに平成25年度分として55件が申請されています。

なお、平成25年9月25日現在の実績は下記のとおりです。

単位:千円

事業名	対象	平成23年度事業				平成24年度事業			
		申 請		実 績		申 請		実 績	
		件数	事業費	件数	事業費	件数	事業費	件数	事業費
共同利用漁船等復旧支援対策事業	漁 船	60	1,233,928	41	960,299	16	440,917	0	54,481
	定置・漁具	80	225,196	64	179,422	32	72,008	6	21,186
	小 計	295	1,607,065	260	1,449,893	55	348,350	11	132,168
合 計		355	2,840,993	301	2,410,192	71	789,267	11	186,649

平成24年度共同利用小型建造事業の実績金額は中間払い4隻分の合計。支払完了していないため実績としては0件。



事業で整備した貝桁漁船



事業で整備した漁船の操舵室